

HANAMIZUKI

はなみずき

学報 vol.42

2016年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981

<http://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 石永 正隆

印刷 株式会社ニシキプリント



愛優輝を掲げ10年



学長 石永 正隆

山陽の丘の学舎は今、緑に包まれ、清々しさにあふれる学生たちが学びに励んでいます。入学当初、新入生は高校との違いにとまどっていたようですが、数ヶ月たって、すっかり慣れてきたようです。2、3年生もそれぞれ思いを新たに自分の課題に臨んでおられることでしょう。最終学年になりますが、慌てることなく熟考しながら学生生活を有意義に過ごしてください。

さて、本学の実践目標「愛・優・輝」については、入学前から、様々な機会で見聞してきたこととは思いますが、フレッシュマンセミナーで説明をしたことで、より一層自分のものとして捉えてくれる人が増えたようです。ある学生は、「少しでも意識しながら学生生活を歩みたい」と表明してくれ、嬉しく思いました。

この実践目標は、本学の「建学の精神」や「教育目標」を学生みなさんに分かりやすい形で示そうと、平成17年につくられたものです。この実践目標を掲げて10年経ちました。この目標を旗印として岩戸尾城跡地に学舎はしっかりと立ち、右手には「知識・技能」を、左手には「愛・優・輝」を掲げて、多くの学生が社会へと旅立っていきました。保護者や高校の先生からは女子大ならではの実践目標だとか、中にはこの目標に惹かれて入学したという学生もいました。語句の印象も響きも素晴らしい目標ですが、わたくし自身はこの言葉を発する時はとても緊張します。自分は「愛・優・輝」を実践しているのかと、私が思う以上に聞く皆さんから問われていると思いますから。

「愛・優・輝」の表現の一つとしてボランティア活動があります。今年の“れんげ祭り in 佐方”の参加者は71名と昨年より10名多く、地域の方々にはたいへん感謝されました。学生の皆さんの感想文を読みますと、ボランティア活動を楽しんだだけでなく、地域の方々からコミュニケーションの取り方を自然と学びとるなど、自分自身にも多くの成果をあげてくれたようです。

昨今、女性が活躍できる社会にという声が高まっていますが、本学は53年前から、地域社会に貢献できる自立した女性の育成を目指し、多くの卒業生を送り出してきています。そして、第一線で日々頑張っておられる卒業生の笑顔を見るととっても元気になります。在学生の皆さん、元気な自立した女性として、「愛・優・輝」の精神を持ってはばたいてください。その基礎が、今この学びの場で築かれつつあるのです。



入学生の声

人間生活学科 医療事務情報コース 1年 阿部 香菜子



短大での新しい生活が始まり、最初は友達ができるだろうか、授業にはついていけるだろうかと不安でいっぱいでした。しかし、先生方をはじめ、周囲の人たちがとても優しく、友達もできて楽しく大学生活をスタートすることができました。授業時間は高校時代と違い90分で、最初はとても長く感じましたし、授業では専門的なことについて深く学んでいくため、最初は分からないことが多く大変でした。しかし、今では夢を叶えるために、多くの資格を取得し、様々な知識を身につけていきたいと思っています。

また、スポーツ大会や大学祭などの学校行事やサークル活動にも積極的に参加して、同じ学科の同学年だけでなく、他学科他学年の人たちとのつながりを持ち、これからの大学生活がより充実したものとなるように頑張っていきたいと思っています。

食物栄養学科 栄養管理コース 1年 吉本 みな美



長時間にわたる通学に2年間耐えられるのだろうかという不安を抱きながら入学し、早4ヶ月が経ちました。少しずつ授業や実習が始まり、栄養士の資格を取得したいという気持ちが強まってきました。日々の90分授業を大切にしようと思っていますが、やはりとても長く感じ、なかなか慣れずにいます。しかし、90分の中で学べることはたくさんあるので、将来のために勉強しているという気持ちを持って栄養士としての知識を増やしていきたいです。

また、改めて学園内にある附属幼稚園を実際に見ることで、後期からはじまる給食管理実習に期待が膨らみました。自分たちで作った給食を目の前で食べてもらい直接意見を聞き、次回の実習に生かせるようにしていきたいです。

2年間はとても短いので、時間を大切に、信頼される栄養士になれるように頑張りたいです。また、大学に通わせてもらっているという親への感謝も忘れず、目標に向かって励んでいこうと思います。

臨床検査学科 臨床検査コース 1年 武居 美琴



入学して、4ヶ月が経ちました。入学当初は、勉強についていけるか、クラスに馴染んでいけるかなどの不安をたくさん抱えていましたが、今では新しい環境にも慣れ、楽しく、充実した日々を送っています。

今までの勉強とは違って、専門的なことを学んでいくことは想像以上に難しく大変ではありますが、それと同時に、最終的な目標である国家試験に合格したいという思いが強くなっていきます。授業や臨地実習などで得ることのできる知識を大切に、日々努力していきたいです。また、大学行事やボランティア活動にも積極的に参加し、たくさんの人との関わりや経験を通して、人間的にも成長していきたいです。

優れた臨床検査技師になれるよう、3年間で有意義に過ごしていきたいと思っています。

専攻科(診療情報管理専攻) 1年 永田 夕貴



専攻科に進学し、身が引き締まる思いです。カリキュラムを見ると、専門的な授業が多くあり、医療事務コースで学んできたことが大変重要であると実感しました。これまでの先輩方の頑張りの、先生方の熱意も伝わってくるため、来年2月に行われる診療情報管理士認定試験に向けて日々努力し、より一層勉学に励もうと気持ちを新たにしました。授業での小テストでお互いのレベルを把握し、刺激しあえる良い環境であると感じる中で、自主学習を日々積み重ねて得意分野を増やしていきたいと思っています。また、就職活動を早くから始め、自分に合った就職先を決めて、余裕を持って認定試験に臨めるよう計画的に行動していきたいと思っています。お互い切磋琢磨しあい努力し、みんなで認定試験に合格できるよう有意義な1年間にしたいと思います。

人間生活学科

オリエンテーションセミナーを企画して

人間生活学科 医療事務情報コース 2年 守田 麻美



2016年のオリエンテーションセミナーは昨年に引き続き宮島で行われました。幸いにも、天候に恵まれ、雲ひとつない晴天でした。フェリーから会場のホテルまで、揚げもみじを食べたり、何気ない話で盛り上がったりしているとあっという間に会場に着いていました。

ホテルでは1年生の課題表彰や自己紹介、学友会やサークル活動についての話があり、午後からはイントロ当てゲームやビンゴなどを行い、とても盛り上がりました。

「同じチューターや同じ学科の人と仲良くできるように」と、設けられた今回のオリエンテーションセミナーでしたが、1年生の皆さんには楽しんでいただけたでしょうか。私たち2年生の企画が皆さんの交友を深めるきっかけになれたなら嬉しいです。



特論発表会を開催しました

2月10日(水)に2年生による特論発表会を開催しました。特論発表会は、学生の問題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を図り、人間生活学科の特徴のある取り組みの一つです。

この発表は学生が関心のあるテーマについて学科教員の指導のもと1年間にわたって調査・研究し、その成果を発表するものです。発表会には、1年生と学科教員のほか、新年度に入学予定の高校生も参加しました。

今回の発表テーマは、「診療情報管理士の国家資格化に向けた意識調査」、「広島土砂災害の現状と住民情報の管理方法についての考察」、「なぜジブリの食べ物美味しそうに見えるのか?」、「ストーカー行為の境界線―「耳をすませば」と「美女と野獣」を比較して―」、「音楽療法の効果について」、「時代と共に変化するファッション」など、幅広い分野にわたるものでした。

発表を聞いた1年生は、色々な知識を得ることができ、来年度特論テーマの選択の参考になったようです。



医療事務技能認定試験

(称号：メディカルクラーク) **合格率 92.3%**

医療事務情報コース1年生25名、人間心理コース1名の計26名が、医療事務技能認定試験を受け、24名が合格しました。

医科全体では、受験者数2,739人、合格者数1,791人、合格率65.4%でした。

医療事務情報コースの合格者は、次のステップとして、難易度の高い「診療報酬請求事務能力認定試験」に挑みます。

診療情報管理士認定試験 **合格率 71.4%**

専攻科(診療情報管理専攻)の4期生7名中5名が、2月14日に実施された「診療情報管理士認定試験」に合格しました。医師や看護師等の国家資格者も、受験する認定試験です。

認定試験全体では、受験者数 3,992名、合格者数 2,118名、合格率 53.1%でした。

本学の結果は、模擬試験や認定試験対策授業などに、専攻科生が熱心に取り組んだ成果だと思います。

専攻科(診療情報管理専攻)の4期生は、専攻科の就職率100%の実績を更新しています。

先輩に続けと、5期生8名が、来年の認定試験に向けて日々励んでいます。

食物栄養学科

新入生歓迎オリエンテーションセミナーを企画して

食物栄養学科 食品開発コース 2年 浅井 日花里



4月8日、宮島にて新入生歓迎オリエンテーションセミナーを行ないました。昨年になかったことを企画しようと思い、参加者全員にスノーボールクッキーを渡そうと決めました。レモンとココアの2種類のクッキーを作り、袋詰めする作業は大変でしたが、皆の喜ぶ顔が見たい一心で頑張りました。

当日は天気にも恵まれ、出席率も良く、企画した側としてはとても嬉しかったです。宮島を観光しながらウォークラリーをした後、杜の宿で昼食をとり、ビンゴやイントロクイズを行ないました。どちらも想像以上に盛り上がり、学年の壁を越えて楽しく交流できたのではないかと感じました。最後にスノーボールクッキーを参加者に配るととても喜んでくれました。

短い時間の中でしおり作りや企画を考えることは思った以上に難しく、常に動き回って大変でしたが、皆が楽しく交流してくれたので頑張ったかいがありました。色々と反省点もありますが、皆の笑顔を見ることができて良かったです。



卒業制作展および作品展

2月13日に、毎年恒例となっている「卒業制作展および作品展」を開催しました。

栄養調理コース・食品開発コース2年生による2年間の学習の成果を発揮した個人・製菓作品と、栄養調理コース1年生によるグループ作品の展示をしました。

また、ひろしま地域食材PR推進事業参画試食展示会も同時開催しました。

お越しくださいました皆様ありがとうございました。

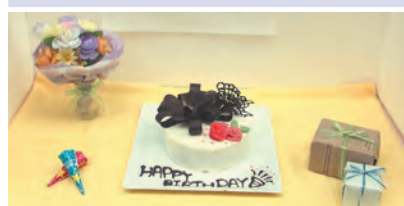
個人作品部門 理事長賞



個人作品部門 学長賞



製菓部門 理事長賞



製菓部門 学長賞



グループ作品 同窓会会長賞



2016年「新調理システム管理者」講習会について

本学では「新調理システム管理者」講習会ならびに資格試験を年に1度実施しております。受講は3年以上の実務経験をもつ栄養士、調理師、食品関係企業従事者を対象としています。ホームページにて詳細を掲載しておりますので、どうぞこの機会に多数お誘いの上ご参加ください。お待ちしております。

臨床検査学科

オリエンテーションセミナーを企画して

臨床検査学科 臨床検査コース 2年 大上 真由子



今年のオリエンテーションセミナーは廿日市市スポーツセンターで行いました。1年生から3年生の混合チームを作り、午前中は学園歌の練習、クイズやイントロゲーム、午後からはドッチビーでチームごとに競い合いました。学年の垣根を越えて楽しめるように企画したゲームでは最初は緊張気味だったみんなの表情が次第に笑顔に変わっていくのを見るとうれしくなりました。

お昼は外の芝生でお弁当を食べましたが、2,3年生が積極的に話しかけ、互いに自己紹介している様子も見られました。学年は違っても、これから共に楽しくキャンパスライフ送っていけばいいと思います。



国家試験を終えて

2016年3月卒 狩野 ひかり



国家試験は部活動でいう定期演奏会や県大会と同じ、日々の努力の積み重ねです。私達は毎日勉強に励み、多くの人に支えられ国家試験を受験することが出来ました。感謝の気持ちを忘れず臨床検査技師として一生懸命働こうと思います。

2016年3月卒 新田 麻衣



3年生秋くらいから焦りや不安と戦いながらの勉強でした。そんな中、これまで実習で頑張ってきたことや、この仕事をやりたいという強い気持ちを自分自身に言い聞かせながら、不安を乗り越えてきました。そして何より友人の支えが大きな力となりました。

2016年3月卒 高津 亜莉紗



私は国家試験勉強を始めたのが遅かったため一人ではどう勉強したら良いか分からず焦ってしまいましたが、友達に勉強を教えてもらいながら乗り越えることができました。

国家試験結果情報

担任 小野寺 利恵

山陽女子短期大学で出会った仲間と励まし合いながら猛勉強し、受験した第62回臨床検査技師国家試験。合格率は97.1% (全国平均76.4%)と、それぞれが自分自身と戦い一回りも二回りもたくましく成長して、臨床検査技師としての一步を踏み出すことができました。これも、学生達を支えてくださいました保護者の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

臨地実習が始まりました



JA広島総合病院

学生表彰を受賞して

臨床検査学科 臨床検査コース 2016年3月卒 小堀 敦子

この度、日臨技学生表彰をいただきました。このような栄えある賞をいただいたのは、先生方や級友、研究グループメンバーの支えのおかげです。これからもこの賞に恥じぬ努力を続けていこうと思います。



私の就職活動



人間生活学科 オフィス情報コース 2016 年 3 月卒 加土 菜緒恵

■就職先／Canon システム&サポート株式会社

私はこの春、Canon システム&サポート株式会社に入社しました。就職を意識し始めた時期は昨年の 8 月でした。短大卒業後、4 年制大学への編入学を考えていた私は、編入試験に向けた受験勉強を 7 月までしていました。しかし、編入試験に失敗したため、就職へ志望を変更しました。同級生から出遅れての就職活動だったので、毎日が不安と焦る気持ちでいっぱいでした。無事 10 月末に内定を頂いたときは、今でも忘れられないくらい本当に嬉しかったです。

私が就職活動で重視したことは、面接で話す内容を丸暗記しないことです。伝えたいキーワードを付箋に書き込み、単語をつなぐように話すことを練習しました。そうすることで、相手の目を見ながら堂々と話すことができます。また、笑顔や明るさも大切で、これらはその場ですぐできるものだと思うがちですが、いざ面接になるとうまくできないものです。学生生活を大に楽しみ、仲間と一緒に笑顔で毎日を過ごすことが一番の秘訣だと私は思います！2 年間はあっという間なので、充実した生活を送ってください。



食物栄養学科 食品開発コース 2016 年 3 月卒 中西 紗弥香

■就職先／山陽食品株式会社

私は今年の 4 月から山陽食品株式会社の製造部に働いています。

就職活動は 2 年生の始め頃に合同企業説明会に何度か参加しましたが、私自身が何をしたいのかがはっきり決まっていなかったため、それからは活動をしていませんでした。10 月から活動を再開しましたが、時間があまり無かったので、予定を詰め込んだ状態になってしまいました。もっと早めに行動していればしっかりとした対策を立てたりできたと思います。よく聞く話だと思いますが、早めの行動は本当に大切だと実感しました。

活動で特に力を入れたことは面接練習です。練習した内容そのまま、ということはありませんでしたが、練習をしておいたお陰で落ち着いて面接を受けることができたと思います。

悩むこともあると思いますが、周りの人が力になってくれるので抱え込まずに話してみると良いと思います。頑張ってください。



臨床検査学科 臨床検査コース 2016 年 3 月卒 溝口 知子

■就職先／広島鉄道病院

私は、4 ヶ月間病院実習させていただいた広島鉄道病院に内定をいただきました。就職活動について今思い返すと、たくさんの人の支えがあったことで乗り越えられたと実感しています。筆記試験と小論文、面接の試験があり、主に面接に力を入れ、就職活動を行いました。最初に、先輩たちがこれまで記録されていた、就職活動報告書を元に面接での受け答えの練習ノートを作成し、そこで自己分析を行いました。次に、先生方に面接練習の指導をいただき、空き時間に友達同士で面接練習も行いました。先生方が熱心に就職活動をサポートしてくださり、試験には自信を持って臨むことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

成績優秀者表彰

人間生活学科

- 医療秘書実務士
(日本医療福祉実務教育協会表彰)
人間生活学科 医療事務コース 内藤 綾音
- 診療情報管理実務士
(日本医療福祉実務教育協会表彰)
人間生活学科 医療事務コース 篠田 千裕
- メディカルクラーク
(日本医療教育財団表彰)
人間生活学科 医療事務コース 永田 夕貴
- ピアヘルパー
(NPO 日本カウンセラー協会 会長賞)
人間生活学科 人間関係コース 谷口 沙織

食物栄養学科

- 全国栄養士養成施設協会表彰
食物栄養学科 栄養管理コース 田川 遥
- 社団法人全国調理師養成施設協会 会長賞
食物栄養学科 栄養調理コース 益 優沙
- 社団法人全国調理師養成施設協会 技能奨励賞
食物栄養学科 栄養調理コース 高藤 仁美
食物栄養学科 栄養調理コース 大石 奏絵
- 日本フードコーディネーター協会 会長賞
食物栄養学科 栄養調理コース 大石 奏絵
- 日本フードコーディネーター協会賞
食物栄養学科 食品開発コース 中西 紗弥香
- フーズスペシャリスト協会賞
食物栄養学科 食品開発コース 重津 絵三佳
- 食品科学教育協議会表彰
食物栄養学科 食品開発コース 重津 絵三佳

資格取得者数

資格	人数
栄養士免許	37
調理師免許	13
臨床検査技師	34
健康食品管理士	7
診療情報管理士	5
上級情報処理士	3
医療秘書実務士	27
診療情報管理実務士	22
診療報酬請求事務能力認定試験	1
介護職員初任者研修	3
ウェブデザイン実務士	5
ビジネス実務士	16
フードコーディネーター 3 級	12
フーズスペシャリスト	12
新調理システム管理者	38
食育インストラクター	4
フードサイエンティスト	4

合格率
97.1%
[全国平均
76.4%]

合格率
100%
[全国平均
82.8%]

合格率
71.4%
[全国平均
53.1%]

平成28年度 年間スケジュール

前期

4月 2日	入学式	25日	第5回公開講座
8日	新入生オリエンテーションセミナー	7月17日	オープンキャンパス
5月22日	オープンキャンパス	8月 2日	前期定期試験(～10日)
28日	第1回公開講座	11日	オープンキャンパス
6月 4日	第2回公開講座	12日	夏季休業開始(～9月19日)
11日	第3回公開講座	22日	成績発表
17日	スポーツ大会	28日	オープンキャンパス
18日	第4回公開講座	25日	追再試手続(～26日)
19日	オープンキャンパス	9月 1日	前期追再試験(～9日)
		4日	聖湖マラソン
		16日	追再試験成績発表

後期

9月 20日	後期授業開始	20日	追再試手続(～21日)
25日	オープンキャンパス	24日	後期追再試験(～3月1日)
10月22日	陽月祭(～23日)	3月 4日	一般入学試験(Ⅱ期)
11月 5日	推薦入学試験(公募A)	8日	追再試験成績発表
12月 3日	推薦入学試験(公募B)	15日	卒業式
23日	冬季休業開始(～1月6日)	16日	春季休業開始
1月 10日	授業開始	24日	推薦入学試験(公募C)
2月 2日	後期定期試験(～10日)		一般入学試験(Ⅲ期)
4日	一般入学試験(Ⅰ期)		
17日	成績発表		

役職教職員紹介

学 長
石永 正隆副学長
臨床検査学科長
白石 幸雄人間生活学科長
章 志華専攻科長
丸川 浩食物栄養学科長
鈴木 理教務部長
谷口 菊代学生部長
谷口 薫入試広報部長
中東 教江事務局長
迫 豊人

人 事

＜退職＞	平成28年 3月31日	食物栄養学科教授	重田 耕司
	平成28年 3月31日	食物栄養学科助手	稲岡 麻衣
	平成28年 5月31日	食物栄養学科助手	中田 光
＜採用＞	平成28年 4月 1日	人間生活学科助教	堀内 綾音
	平成28年 4月 1日	食物栄養学科教授	岡崎 尚
	平成28年 4月 1日	食物栄養学科助手	泉 貴子
	平成28年 4月 1日	食物栄養学科助手	濱本 沙織
	平成28年 4月 1日	臨床検査学科准教授	丹下富士男

平成27年度貸借対照表(山陽女学園)

(H28.3.31)

(単位:千円)

資産の部		負債・基本金・繰越収支差額の部	
科 目	27年度末	科 目	27年度末
固定資産	4,071,958	固定負債	402,242
有形固定資産	3,502,124	流動負債	248,876
その他の固定資産	569,834	負債の部 合計	651,118
流動資産	1,237,776	基本金	7,006,024
		繰越収支差額	△ 2,347,408
		翌年度繰越収支差額	△ 2,347,408
		純資産の部 合計	4,658,616
資産の部 合計	5,309,734	負債及び純資産の部 合計	5,309,734

平成27年度事業活動収支計算書(山陽女学園)

(H27.4.1～H28.3.31)

(単位:千円)

		科 目	決 算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	782,202
		手数料	18,669
		寄付金	2,298
		経常費等補助金	348,963
		付随事業収入	42,461
		雑収入	25,767
		教育活動収入計	1,220,360
		事業活動支出の部	人件費
	教育研究経費		320,038
	管理経費		144,370
	徴収不能額等		0
教育活動支出計	1,198,516		
教育活動収支差額		21,844	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	451
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	451
	支出の部	借入金等利息	3,757
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	3,757
		教育活動外収支差額	
経常収支差額		18,538	
特別収支	収入の部	資産売却収入	0
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	774
		特別収入計	774
	支出の部	資産処分差額	329
		その他の特別支出	0
		特別支出計	329
特別収支差額		445	
〔予備費〕			
基本金組入前当年度収支差額		18,983	
基本金組入額合計		△ 22,780	
当年度収支差額		△ 3,797	
前年度繰越収支差額		△ 2,372,053	
基本金取崩額		28,442	
翌年度繰越収支差額		△ 2,347,408	
(参考)			
事業活動収入計		1,221,585	
事業活動支出計		1,202,602	

※財務関係書類につきましては、学校法人山陽女学園情報公開取扱い規定に基づき閲覧することができます。